

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	白石町立白石小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 一人一台の学習者用端末の活用については、全職員で研修を行い、授業活用のスキルアップを図った。次年度も、引き続き活用し、全職員のスキル維持、さらなるスキルアップを図っていく。また、家庭へ持ち帰る頻度も増やし、家庭学習での有効活用を検討していく必要がある。同時に、正しい活用ができるように、情報モラル教育の充実も図っていかなければならない。 算数科の校内研究を中心として、児童の学力向上を目指し、研修を深めてきた。学習状況調査が県平均を上回る結果であったが、今後も知識・技能を確実に身に付けさせ、児童同士の対話を活性化し、深い学びとなるようにさらに授業力向上に努めていく必要がある。 常に新型コロナウイルスの感染拡大防止を意識し、全職員で日々感染対策を行ってきた。すべきことを確認し合い、情報共有し、児童の安心・安全な学校生活を保つことができた。今後も、安心・安全な学校生活の保持のため、心身を強く、たくましく育む教育に取り組んでいく。
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	心豊かに、創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成 ～幸せいっぱい 白石小学校～
----------	--------------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①一人一台の学習者用端末の学校内外での活用推進を図る。 ②算数科の校内研究を中心とした授業力向上に努め、児童の学力向上を図る。 ③新型コロナウイルスや自然災害等から身を守るための指導を行い、健康で安心・安全な学校・家庭生活を推進する。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)							
●学力の向上	○校内研究の充実	○(学校独自成果指標・任意) 自分の考えをもち、課題解決をしようとする児童が80%以上	・児童が自分なりの方法をとりながら、考えをもって課題解決できるよう、手立てをとりながら授業を行う。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童・保護者が80%以上	・ふれあい道徳を実施し、全学級で授業を公開する。 ・授業後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学級通信等で保護者に知らせる。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のカード」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・学級経営案に沿って、学期ごとにPDCAを行う。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応策について協議する。						
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとする教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童が80%以上	・自分の目標や将来の夢について考える機会を授業の中に設定する。 ・地域の方や様々な専門家のお話を聞く機会を設ける。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○各学年の目標就寝時間までに寝る児童70%以上 ○朝食をとる児童90%以上 ○1日3回歯磨きをする児童80%以上	・9月と1月に「はなまるすこやかチェック」を実施し、1週間、就寝時刻、朝ごはん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。 ・実施前に保健指導を行い、目標を立てさせる。 ・保護者と連携し、生活の改善につなげる。						
	○運動習慣の改善と体づくり	○週に3日以上出て遊んだり、スポーツをしたりした児童が80%以上 ○外遊びのための具体的な方策を考えている児童が80%以上	・委員会が運動遊びの内容を決定し、イベントの運営・企画をする。 ・外遊びウィーク(12月)を設定し、外遊びを推奨する。 ・持久走週間やなわとび月間など定期的に取り組む。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外勤務時間の職員の1ヶ月平均が45時間以下	・毎週金曜日を定時退勤推進日とし、掲示板に掲げたり、個別に声掛けをしたりする。 ・毎月、自分の勤務状況を把握し、各自でタイムマネジメントしていく。						
	○学校組織、教職員集団としての働きやすい雰囲気づくり	○一人で抱え込まず、気軽に情報交換や相談ができる職場だと思える職員80%以上	・情報を共有する場を設定する。(週に1回の連絡会) ・ストレスチェックを行い、各自の心の状態を把握する。 ・職員同士が気軽に話せる時間を設定する。(各学期に1回程度)						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)							
○ICT利活用教育	○一人一台の学習者用端末の学校内外での活用推進	○学習者用端末の有効な活用法を熟知している教師が80%以上 ○学習者用端末を活用して主体的に学習することができる児童80%以上	・校内研修で学習者用端末の活用法を提案する。 ・授業の中で学習者用端末の活用場面を仕組む。						
○図書館教育	○読書活動の充実	○年間読書100冊に達した児童が90%以上	・多読賞や読書マスターの表彰、「100冊達成の掲示」を継続する。 ・図書館イベントの開催や公共図書館との連携、家読の推進、学校の読書活動のお知らせを図書館便りで伝えることで、多くの本と出会う機会を作る。						
○安全教育	○危機対応力の育成	○「学校は防災や不審者侵入などの対策ができている。」と答えた保護者が80%以上	・年3回の避難訓練を実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を確実に遂行する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--